

新世界图书事业部

编

日语能力考试

解题分析与实战演练



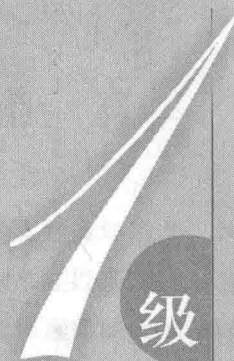
级 阅读 どっかい

- 一线教师主笔担纲，贴近考生需求
- 全面分析历年考试，总结出题规律
- 精心编写模拟试题，检验复习成果

上海教育出版社

日语能力考试

解题分析与实战演练



级

阅

读

どっかい

主 编 高 媛

上海教育出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语能力考试解题分析与实战演练. 一级阅读 / 高媛
主编, —上海: 上海教育出版社, 2008. 6

ISBN 978-7-5444-1955-0

I. 日… II. 高… III. ①日语—阅读教学—水平考试—自学
参考资料 IV. H360. 42

中国版本图书馆CIP数据核字 (2008) 第081919号

日语能力考试解题分析与实战演练

一级阅读

高媛 主编

上海世纪出版股份有限公司

上海教育出版社

易文网: www.cwen.cc

出版

上海世纪出版股份有限公司

外语教育图书分公司

出品

(邮编: 200235 上海钦州南路71号11楼 021-64378133)

上海世纪出版股份有限公司发行中心

上海人教海文图书音像有限公司

(邮编: 200083 上海水电路54号 021-56978943)

发行

各地新华书店经销 上海华文印刷厂印制

开本 787×1092 1/16 印张 10 插页 0

2008年8月第1版 2008年8月第1次印刷

印数 0 001—3 000 本

ISBN 978-7-5444-1955-0/H • 0089 定价: 15.00 元

(如发生质量问题, 读者可向工厂调换)

前言

随着中日交流的不断加强,学习日语的人数逐年增多。日语能力考试作为衡量学习者日语水平的一个标尺,自20世纪80年代在中国举办以来,参加人数逐年递增。如何才能更快、更好地学习日语,如何才能在日语能力考试中取得理想的成绩,这既是广大日语学习者所追求的,也是我们编者所追求的。

新世界教育集团在总结了十余年日语教学和考试培训经验的基础上,针对参加日语能力考试1、2级考生的需要,精心组织编写了这套《日语能力考试解题分析与实战演练》系列丛书。本套辅导用书共分8册,各分册分别针对1、2级日语能力考试中的“文字·词汇”、“语法”、“听力”和“阅读”部分,通过总结近十年间日语能力考试的特点和难点,采用重点问题重点分析的办法,从“真题解析”和“实战演练”两大方面进行编写,避免了一般模拟题集泛而不专的弊端,方便读者根据自己的弱项予以针对性地选用。

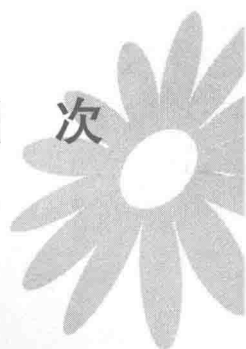
本书为1级考试的阅读分册,对2005年—2007年阅读考试部分的三大类题型分别进行了真题解析,帮助大家从捕捉各种关键词以及分析句子结构入手,学会阅读和解题的技巧。而且,本书也提供了大量的实战训练模拟题。由于读解实力的塑成一定要建立在大量练习的基础上,为此,笔者深入分析历年试题,并与丰富的教学经验相结合,精心编写了形式丰富、侧重点各异的模拟习题,以供读者全面提高读解能力。

阅读理解是外语能力的综合体现,需要大量的词汇及语法知识做支撑,希望有志于参加能力考试的读者通过阅读训练来学习掌握单词和各种惯用语句的确切含义,并使用本书来训练自己的连续阅读能力,以免在考试中出现读了几篇文章后注意力便很难再集中起来的现象。

若本书能对参加日语能力考试的读者有所帮助,笔者将不胜荣幸。本书在编写过程中得到了新世界教育集团许小明老师、稻本麗香老师等各位领导和同仁的悉心指点与大力支持,在此一并表示感谢。由于笔者水平有限,难免有疏漏及不尽如人意之处,敬请日语界各位同仁斧正。

笔者 谨致
2008年5月

目 次



第 **I** 篇
解析篇

(一) 长篇	1
2005 年の問題 I	1
2006 年の問題 I	7
2007 年の問題 I	12
长篇対策	17
(二) 中篇	18
2005 年の問題 II の 1	18
2005 年の問題 II の 2	21
2005 年の問題 II の 3	24
2006 年の問題 II の 1	27
2007 年の問題 II の 3	30
中篇対策	32
(三) 短篇	33
2006 年の問題 III の 1	33
2006 年の問題 III の 3	35
2007 年の問題 III の 2	36

2007 年の問題 IIIの1	38
2007 年の問題 IIIの3	39
2007 年の問題 IIIの5	40
短篇対策	42

第 II 篇

实战篇

第 1 回	43
第 2 回	54
第 3 回	64
第 4 回	74
第 5 回	84
第 6 回	96
第 7 回	108
第 8 回	119
第 9 回	130
第 10 回	141
附录：解答と配点	151

第 I 篇

解析篇

長 篇

真题解析

2005 年の問題 I

来世紀に向けて、個人レベルであれ、地域社会・地球規模であれ、科学技術の進歩ゆえにいつそう複雑になっていく問題に対して、個人が判断しなくてはならない局面が増えていくことだろう。その時に自分なりに納得のいく判断を下すためには、科学に無関心・無理解を決めこんだ^(注1)りせず、ふだんから科学にめを向け、科学的な考え方にふれている必要があるだろう。つまり、①科学と社会を結びつける良質の情報が必要なのである。その情報は自分の行動に役立てるために受信するだけでなく、場合によっては、自ら責任ある発信者となるために役立てることも大切である。

残念なことに、科学者がもたらした成果は、そのままでは判断材料としては②役に立たないことが多い。まず、専門用語ゆえに科学はとりつきにくい。科学が高度になり細分化したために、領域が異なれば科学者でも理解が困難な状況になってしまっている。良質の情報は優れた③表現能力をともなわなくてはならないが、実際のところ、研究に専念している科学者には時間的余裕がなく、そうした表現能力を磨くいとま^(注2)もないのが普通である。

一方で、④科学者にも良質の情報が必要である。科学者は何かしら新しいことを世界に先駆けて発見・発表することに熱中するものである。その結果が化学・生物・核兵器の開発に加担する^(注3)ことはないか、あるいはわれわれの生活ないしは地球という生態系^(注4)に思いもよらぬ影響を与えることがないかに思いを馳せる^(注5)機会は、必ずしも多くはない。⑤こうした点に関して、科学者は外部から指摘される必要がある。



(⑥)、最先端の科学の研究成果とその社会的意味を科学に慣れ親しんでいない人に、また社会的意味については科学者に対しても改めて説明する人材、つまり科学の「インタープリター」が必要となる。インタープリターは専門用語の単なる直訳^(注6)者ではなく、問題を指摘し、進むべき方向を示唆する^(注7)、科学と実生活の橋渡しをする解説・評論者である。かれらが架けるその橋は、専門化した科学技術を公開して市民を啓蒙する^(注8)という一方通行のものであってはいけない、インタープリターには科学者がふだん忘れがちな社会への波及^(注9)効果、倫理^(注10)的問題、他の科学技術や学問分野との連繋^(注11)の可能性なども鋭く指摘してほしい。また、一般の人の科学に対する素朴な疑問の中からインタープリターが斬新な考え^(注12)を吸い上げることで、科学者は思いもよらぬ発想転換のヒントを得られることも考えられる。

現在でも優れた作家、評論家、科学者、ジャーナリストなどが先端科学のインタープリターとして活躍しているが、21世紀に向けてその活躍はますます期待されている。

〔黒田玲子「社会のなかの科学、科学にとっての社会」『現代日本文化論 13 日本人の科学』による〕

(注1) 決めこむ:勝手にそのように決めてしまう

(注2) いとま:暇、時間のゆとり

(注3) 加担する:力を貸す

(注4) 生態系:生物とそれを取り巻く環境

(注5) 思いを馳せる:想像する

(注6) 直訳:原文の一語一語を辞書通りの意味に忠実に訳すこと

(注7) 示唆する:ヒントを与える

(注8) 啓蒙する:教え導く

(注9) 波及:影響が及ぶこと

(注10) 倫理:人として守るべき道

(注11) 連繋:つながりをつけること

(注12) 斬新な考え:それまでにない新しい考え

【問1】 ①「科学と社会を結びつける良質の情報が必要なのである」とあるが、この「良質の情報」とは何か。

- 1) 一般の人にも役に立つ科学に関する情報
- 2 複雑な社会の問題に関係のある科学的情報
- 3 科学者が研究のヒントにできるような情報
- 4 社会に大きな影響を与える科学に関する情報

解析

这是一道考查文章细节的题目。文章一开始引出话题。这里需要注意的是连接词“つまり”，“つまり”正好出现在问题句的前面。由此可见问题句是对前面内容的总结。问题句后面的“その情報”显然是笔者对上一句话也就是问题句中的“良質の情報”的补充说明。因此，“良質の情報”是“自分の行動に役立てるために受信するだけではなく、場合によっては、自ら責任ある発信者となるために役立てることも大切である”。选项2、选项3、选项4根本就没有提到，所以运用排除法，这道题的正确答案应该是选项1。

【問2】 ②「役に立たないことが多い」とあるが、筆者はどうしてそう思うのか。

- 1 科学者には複雑な問題を考える時間的余裕がないから
- 2 科学者がもたらした成果は社会的意味があまりないから
- 3 科学者の発表する研究成果は一般の人には理解が困難だから
- 4 科学が高度になり、一般の人は科学に関心を持たなくなったから

解析

这是一道原因题。第二段一开始笔者就指出“残念なことに”，说明上一段是理想状态，第二段描述了一些无法达到理想状态的实际问题。很显然，“残念なことに”后面的句子，即“科学者がもたらした成果は、そのままでは判断材料としては役に立たないことが多い”是笔者觉得“遗憾”的事情。问题问的是“どうしてそう思うのか”，也就是问的是笔者产生这种观点的原因。“まず、専門用語ゆえに科学はとり付きにくい。科学は高度になり細分化したために、領域が異なれば科学者でも理解が困難な状況になってしまっている。”说的是“专业用语很难掌握。由于科学高度细分化，如果领域不同，即使是科学家也很难理解”。接着又提到“研究に専念している科学者には時間的余裕がなく、そうした表現能力を磨くいとまもないのが普通である”，说明“科学家没有时间推敲语言表达”，由此我们可以得出“科学家发表的研究成果一般人很难理解”的结论。文中并没有提到科学家“没时间考虑复杂的问题”。因此，选项1是错误的。选项2的观点不符合逻辑，本身就是错误的。选项4在文章中根本没有涉及到。所以，这道题的正确答案是选项3。

1 科学技術の進歩にともない複雑化する問題を解説できる能力

2 自分の研究成果が一般の人にもわかるように説明できる能力

3 領域の違う科学者と自分たちの研究成果について話し合える能力

4 一般の人と地域社会を結びつける優れた研究を発表できる高度な能力



这道题同样也是一道考查细节的题目。要求对文章细节充分理解。其实这道题的答案和问题2是很相近的。在文章的第二段中,笔者提到“残念なことに”的原因是“科学者の発表する研究成果は一般の人には理解が困難だ”。所以这里的“表現能力”显然指的是选项2的“自分の研究成果が一般の人にもわかるように説明できる能力”。因此,这道题的正确答案是选项2。

【問4】 ④「科学者にも良質の情報が必要である」とあるが、筆者はどんな情報が必要だと言っているか。

1 自分の研究成果が、社会生活や地球環境などに、どんな影響を与えるかを示す情報

2 自分の研究を、科学に慣れ親しんでいない人に、わかりやすく解説する方法を教える情報

3. 自分の領域とは異なる研究の成果が、自分の研究にどのような影響を与えているかを示唆する情報

4 自分の研究に対して、領域の異なる科学者や一般の人はどんな関心を持っているかを知るための情報



笔者在这段中指出“科学者にも良質の情報が必要である”，也就是问题句的“科学家也需要高质量的信息”。下一句的“科学者は何かしら新しいことを世界に先駆けて発見・発表することに熱中するものである”，意思是“科学家热衷于先于全世界发现、发表新事物”。接着的“その結果が化学・生物・核兵器の開発に加担することはないか、あるいはわれわれの生活ないしは地球という生態系に思いもよらぬ影響を与えることがないかに思いを馳せる機会は、必ずしも多くはない”，指出“科学家不一定有太多的机会去考虑那些他们研究的结果会否给化学、生物、核武器的开发带来影响，或者，对于我们的生活

以及地球的生态系统产生影响”。然后提到“こうした点に関して、科学者は外部から指摘される必要がある”，意思是“关于这一点科学家需要得到外界的指点”。这句话提示了科学家需要的信息。联系上下文，“どんな情報が必要だ”应该指的是“こうした点”，即上句中提到的“研究的成果给大家的生活以及地球的环境等带来影响的相关信息”。所以，这道题的正确答案是选项1。

【問5】 ⑤「こうした点」とあるが、どんな点か。

- 1 自分の研究成果がどのような社会的意味を持つかという点
- 2 自分と同じ研究をしている科学者がどのくらいいるかという点
- 3 自分の研究の内容や進め方に新しい発見があったかどうかという点
- 4 科学者が自分の研究成果の影響について発表したかどうかという点



解析

这道题考查的是指示词“こうした”指代的具体内容。通常情况下“こうした”指代的是前一句的内容，也就是文章中“その結果が化学・生物・核兵器の開発に加担することはないか、あるいはわれわれの生活ないしは地球という生態系に思いもよらぬ影響を与えることがないかに思いを馳せる機会は、必ずしも多くはない”这句话。4个选项当中，选项2和选项3并没有提到，所以显然是不对的。部分考生可能会被选项4所迷惑，但是，选项4中的“発表したかどうか”，即“是否发表”，文章中关于“こうした点”显然指的是研究结果是否有意义，而与其发表与否无关。所以，这道题的正确答案是选项1。

【問6】 (⑥)に入る最も適当な言葉はどれか。

- 1 さらに
- 2 そこで
- 3 あるいは
- 4 ところが



解析

这道题是选择适当的连词进行填空。通常有两种情况，一种是在同一个段落中的两个句子之间，另一种情况就是出现在两个段落之间的填空。选择连词需要注意的只有一点，那就是必须要仔细阅读上下文，理解上下文的关系。文章第三段的结尾提到“こうした点に関して、科学者は外部から指摘される必要がある”。接着，笔者另起一段，

括号之后是“最先端の科学の研究成果とその社会的意味を科学に慣れ親しんでいない人に、また社会的意味については科学者に対しても改めて説明する人材、つまり科学の「インタープリター」が必要となる”，这句话显然是对前面内容的进一步解释说明。四个选项中，显然选项2的“因此”符合上下文的连接关系。所以，这道题的正确答案是选项2。

【問7】 筆者は、インタープリターが科学者に対してどのように働きかけることを期待しているか。

- 1 科学の研究成果がどのような社会的問題を引き起こすかについて、調べるように指導すること
- 2 一般の人の科学に対する疑問に答えられるように、科学者が表現能力を磨くことの重要性を訴えること
- 3 作家、評論家、ジャーナリストがさらに活躍できるように、研究成果をできるだけ早く公開するよう促すこと
- 4 科学者の気づかない問題点を指摘し、他分野との協力の可能性や研究のヒントになるような情報を提供すること



解析

这道题考查的是笔者的观点。通常情况下笔者的观点需要解题人阅读完文章，揣摩笔者的思想。而这道题显然并没有那么复杂。因为题目问的是“インタープリターが科学者に対してどのように働きかけることを期待しているか”，而从文章的第四段开始才提到“インタープリター”。作者认为“インタープリター”应该是“問題を指摘し、進むべき方向を示唆する、科学と実生活の橋渡しをする解説・評論者である”，选项1,2,3与这个表述有明显的差异，所以这道题的答案应该是选项4。

2006 年の問題 I

小説が人間の生きる現実の上に成り立つものである以上、その生と死を絶対的に縛る＜時間＞から解き放たれることはあり得ない。というより、より広大な、より豊潤な＜空間＞に向けて飛び立ち、漂い出すことを夢みながら、常に腰につけた＜時間＞の皮肉な命綱によってその世界を守られ、限られ、狭められているのが、小説なるものの運命なのではあるまいか。(中略)

小説がそのように＜時間＞に固く結びつけられているとはいっても、小説の中で生きて動いているのは日めくりカレンダーや柱時計ではなく、登場人物としての人間達である。もとより^(注1)、現実生活においても＜時間＞が見えるわけではない。見えない＜時間＞をなんとか目に映るものにしようと努力して、人間は暦や時計を生んで来たのだらう。(①)、小説の中で時の推移^(注2)を見えるものとするのは、暦や時計それ自身ではなく、溜息をつきながら暦をめくり、不安げな表情で壁の時計を見上げる、あれこれの人物達に他ならない。極言すれば^(注3)、ここでは人間そのものが、ある意味では暦であり時計であるともいえる。とはいっても、人間を単なる＜時間＞の函数^(注4)として考えようとするのではない。むしろ、②人間の存在とは、そのままごく自然に＜時間＞の表現でもあるという一事を述べたかたに過ぎない。

たとえば、こんなことがあるだろう。——1軒の家で暮す一つの家族を描く時、幼い子供達がいる。その父親と母親がいる。この親子は時間の連鎖^(注5)の中で生れて来たものである。つまり、父親となる男性と母親となる女性がいいたから、はじめて子供達が生れて来たわけである。よくいわれるところの核家族とはこの2世代によって構成される家族のことだ。そこでは、いわば③原因と結果が最短距離で向き合い、最小単位の家族を構成しているといえる。

その家族に、更に上の世代、祖父なり祖母なりが加わるとする。④3世代の家族が生れると、これは核家族とは微妙な違いを見せることになる。親と子の関係は二重のものとなり、単純な原因・結果の環によって祖父母と孫達とをつなげるのはむずかしい。つまり、核家族に比して^(注6)こちらでは親と子の関係が相対化してくる。ある家族にとって必ずしも必要なものとはいえないこの年寄りの存在は、しかし一方では当の^(注7)家族にとってまさに＜時間＞そのものに他ならぬともいえるのではないか。親と子がただ二つの世代で向き合っていた際にはあまりに原因・結果の結びつきが直接的であつたためによく見えなかった＜時間＞の姿が、祖父母を加えることによって俄かに立体的なものとして浮かび上って来るということはないだろうか。

年寄り達は、(⑤)という事実を示すことによって時の不思議な影を孫達に垣間見せる^(注8)とともに、自らの古さを通してそこに降り積んだ時の堆積^(注9)を家族の目の前に晒さず^(注10)にはまい。つまり、＜時間＞は逃げようもない血のつながりを素材として家族の中にその本性^(注11)を現したわけである。

〔黒井千次「家族・家屋・時間」『日本の名随筆 83 家』による〕



- (注1) もとより:いうまでもなく
 (注2) 推移:移り変わること
 (注3) 極言すれば:極端な言い方をすれば
 (注4) 函数(通常「関数」と書く):ある数 a の変化によって、他の数 b が変化する時、 b は a の関数であるという
 (注5) 連鎖:鎖のようなつながり
 (注6) ~に比して:~に比べて
 (注7) 当の~:まさにその~
 (注8) 垣間見せる:ちょっと見せる
 (注9) 堆積:積み重なったもの
 (注10) 晒す:隠すところなく見せる
 (注11) 本性:本来の性質

【問1】 この文章は、小説家である筆者が「時間」について書いたものである。筆者は人間が何のために暦や時計を作ったと言っているか。

- 1 人間を単なる時間の函数であることから救済するため
- ☒ 2 現実には見ることの不可能な時間を視覚化するため
- 3 小説の世界の時間の推移をわかりやすく見せるため
- 4 生死を絶対的に縛る時間から人間を解放するため



解析

这是一道关于笔者观点的原因题。问题的第一句话就概括说明了这篇文章的主要内容,即写的是关于“時間”的问题。问题问的是笔者指出人们为什么做“暦や時計”?根据问题,我们需要关注的显然是文章中对于“暦や時計”制作原因的描写。文章的第一段提出了小说和时间的话题。第二段一开始就指出“小说当中的时间通常是通过登场人物来体现的”。因为“现实生活中的时间是看不见的”,所以“見えない<時間>をなんとか目に映るものにしようと努力して、人間は暦や時計を生んで来たのだろう”。因此,笔者认为“人们是为了看到看不见的时间,才制作出年历和钟表的”。所以,这道题的正确答案是选项2。

【問2】 (①)に入る最も適当な言葉はどれか。

- ☒ 1 けれど
- 2 だから
- 3 その上
- 4 つまり



解析

这是道关于连词的填空题,括号出现在文章第二段的两个句子之间,因此,需要理解括号前后两个句子的相互关系。括号前面一句说的是人们制作年历和钟表的原因。括号后面一句“小説の中で”显然指的是,小说当中是如何体现时间的推移的。小说当中提到“暦や時計それ自身ではなく、溜息をつきながら暦をめくり、不安げな表情で壁の時計を見上げる、あれこれの人物達に他ならない”,与现实生活中人们根据年历和钟表来看时间不同。所以,这两句话应该是转折的关系。选项的四个连词中只有选项1是表示转折关系的。所以,这道题的正确答案是选项1。

【問3】 ②「人間の存在とは、そのままごく自然に＜時間＞の表現でもある」とあるが、それはどのようなことか。

- 1 時間を表現しようとする、時計を見るなどの人間の動作を描くことになるということ。
- 2 人間は、自らを縛る時間を意識すると、溜息をついたり不安になったりするということ
- 3 人間が暦や時計を作ったからこそ、時間を視覚的に表現できるようになったということ
- 4 人間の行うすべての営みは、意図せずに時間の存在を感じさせるものであるということ



解析

这是一道考查文章细节的题目,问题句出现在文章第二段的段末,前面的连词是“むしろ”,因此,显然问题句的前面和问题句的内容并不相同,因此,这道题的答案并不是出现在前面。接着,我们继续看问题句的后面,也就是文章的第三段,第三段最开始的连词是“たとえば”,这说明,“たとえば”下面的内容是对上面内容,也就是问题句的举例说明。“こんなことがあるだろう。——”后面的内容就是笔者提到的关于问题句的事例。因此,要把解题重点放在对这个事例的总结上。这个事例主要讲的是一个家庭由2代人到3代人转变的过程。所以,这道题的正确答案是选项4。

【問4】 ③「原因と結果」とあるが、それは何と何のことか。

- 1 核家族と2世代
3 男性と女性

- 2 父親と母親
4 親と子供



解析

这同样也是一道考查细节的题目，“原因と結果”出现在文章第三段笔者举出的事例当中，因此，“原因と結果”所指代的内容应该也在这个事例当中。“1軒の家で暮す一つの家族を描く時、幼い子供達がいる。その父親と母親がいる。この親子は時間の連鎖の中で生れて来たものである。”这句话后面的连词是“つまり”，显然，后面的句子是对前面总结，即“父親となる男性と母親となる女性がいたから、はじめて子供達が生れて来たわけである”。因此，文章中的“原因と結果”指的就是父母和子女的关系。所以，这道题的正确答案是选项4。

【問5】 ④「3世代の家族が生れる」とあるが、そのことによってどのようなことがわかってくと筆者は言っているか。

- 1 子供には年寄りとの良好な人間関係を作ることがむずかしいということ
2 第三者が入ると、親と子供が直接向き合えなくなるということ
3 人間はいつか父や母となり、そして祖父母になるということ
4 年寄りが家にいれば親は必ずしも必要ではないということ



解析

文章的第四段提到“加上祖父母”就产生了“3世代の家族”。连词“つまり”起着总结上面内容的作用。“こちらでは親と子の関係が相対化してくる”指的是“在三代同堂的家族中父母和子女的关系变得相对化了”。选项1，选项2和选项4都与文章内容不相符，所以，这道题的正确答案是选项3。

【問6】 (⑤)に入る最も適当なものはどれか。

- 1 自分達が間違いなく年寄りである。
2 人間は誰でもいつか死ぬものだ。
3 年寄りを必要としない家族もある。
4 父親(母親)もまた子供であった。

解析

这道填空题要求填写的是句子,而不是连词。所以,需要把四个选项逐一放进文章当中,看哪个选项更能使文章内容通顺。“年寄り達は、(⑤)という事実を示すことによって時の不思議な影を孫達に垣間見せる”这句话,主要是说“老年人通过一个()事实让他们的孙辈认识到时间的不可思议”。连接词“つまり”指出后面的句子是对前面内容的说明,“<時間>は逃げようもない血のつながりを素材として家族の中にその本性を現したわけである”,可见括号中的内容应该是与血缘有关。所以,选项4的“父母也是孩子”是这道题的正确答案。

【問7】 この文章の内容と合っているものは次のどれか。

- 1 小説家は、人間を単なる<時間>の函数としないために、家族という人間の結びつきを立体的に描かざるをえない。
- 2 小説家は、<時間>の重さを表すために、時の不思議な影を垣間見せる年寄りを登場人物に入れなくてはならない。
- 3 小説家にとって小説の中で家族をいかに描くかということは、<時間>をいかに描くかということでもある。
- 4 小説家にとって<時間>から解放された小説を書くことは困難だが、挑戦すべき課題である。

解析

这是一道考查文章内容的题。碰到类似题目时,只能是运用排除法对四个选项一一进行排除。通过阅读选项,很容易可以看出选项1、选项2、选项4和这篇文章的内容并不相符。选项1和选项2都含有原文中提到过的内容,但是都使用了“不得不”这样的字眼,事实上,家族也好,老人也好,都只不过是作者举的例子,而不是必需要有的内容。而选项4原文中并没有提到。这篇文章提到小说中对于时间的描写通常是用登场人物来说明的。所以,这道题的答案是选项3。

